

製品名: アンドロゲン受容体ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21066**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG,Kappa |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | プロテイン A |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW:99kD;Observed MW:110kD |

抗原情報

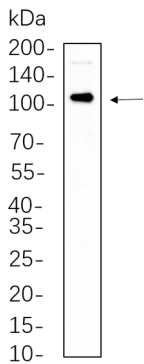
| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | AR DHTR NR3C4 |
| 別名 | Androgen receptor;Dihydrotestosterone receptor;Nuclear receptor subfamily 3 group C member 4; |
| 遺伝子 ID | 367.0 |
| SwissProt ID | P10275 |
| 免疫原 | ヒトアンドロゲン受容体の合成ペプチド |

背景

細胞局在: 核。アンドロゲン受容体遺伝子は 90 kb を超える長さで、N 末端ドメイン、DNA 結合ドメイン、アンドロゲン結合ドメインという 3 つの主要な機能ドメインを持つタンパク質をコードしています。このタンパク質は、ステロイドホルモン活性化転写因子として機能します。ホルモンリガンドに結合すると、受容体は補助タンパク質から解離し、核に移行して二量体を形成し、アンドロゲン応答遺伝子の転写を刺激します。この遺伝子は、タンパク質の N 末端転写活性化ドメインに、ポリグルタミン領域とポリグリシン領域をコードする 2 つの多型性トリヌクレオチド反復配列を含んでいます。ポリグルタミン領域が正常な 9~34 反復から病的な 38~62 反復へと拡大すると、球脊髄性筋萎縮症 (ケネディ病) を引き起こします。この遺伝子の変異は、完全アンドロゲン不応症 (CAIS) にも関連しています。異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシングバリエーション

研究分野

画像データ



LnCap 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンをアンドロゲン受容体ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。